

皮膚科

【研修期間】

1～6 ヶ月（それ以上の場合は要相談）

【受け入れ定員】

1名

【一般目標】

他診療科においても皮膚疾患を目にする機会が多い。その中で、初期対応ができる能力と、皮膚科専門医に依頼すべきであるかどうかを判断する能力を修得することを目標とし、皮膚科外来における診察・検査、手術、病棟における重症患者の治療・処置、他科からの依頼患者の診察などを通して、皮膚疾患全般の理解を深める。

同時に、実際の診療に加わることで、医師として相応しい良識、態度、コミュニケーション技能を修得する。

【行動目標】

〈研修期間が1～3 ヶ月の場合〉

1. 正常な皮膚構造と機能を理解する
2. 一般皮膚科診療の基本：診察法、検査、手技を理解し修得する
 - 良好な医師患者関係の構築
 - 医療メンバーの一員として行動（チーム医療）
 - 皮膚科的所見の取り方と発疹の記載方法
 - 皮膚検査（真菌顕微鏡検査法、ダーモスコピー、皮膚生検法、パッチテスト等）
 - 皮膚外科（局所麻酔下での手術、創傷処理を中心に）
 - 全身療法と局所療法の理解と選択、診療計画・評価（ステロイドをはじめとする内服・外用薬の適応と副作用を理解、創傷被覆材、軟膏等の種類と選択）
 - 適切な文書記録
3. 基本的な疾患を理解する
 - 皮膚炎、湿疹
 - 蕁麻疹、痒疹、そう痒症
 - 皮膚潰瘍、褥瘡、熱傷
 - 薬剤による皮膚障害
 - 血管、リンパ管の疾患
 - 紅斑、紅斑症
 - 角化異常症

- 水疱症
- 膠原病および類症
- 代謝異常症
- 軟部組織疾患
- 肉芽腫症
- 物理学的・化学的原因による皮膚障害
- 色素異常症
- 母斑と母斑症
- 皮膚腫瘍
- ウイルス感染症
- 細菌感染症
- 真菌感染症
- その他の感染症
- 性行為感染症
- 寄生虫・動物性皮膚症
- 付属器疾患
- 粘膜疾患

4. 患者、家族への接遇態度および病気の適切な説明方法、インフォームド・コンセントについて修得する。

5. その他

- 病理組織検討会への参加
- 学会、研修会、講演会への参加

〈研修期間が4～6ヶ月の場合〉

上記内容を反復することで、理解を深める

指導医の管理の下、一皮膚科医として診断から治療まで1人で行う

皮膚外科；第1術者として治療にあたる

学会発表

【週間スケジュール】

月曜日	午前	外来診療	
	午後	中央手術、病棟回診・処置	
火曜日	午前	外来診療	
	午後	褥瘡回診、病棟回診・処置	
水曜日	午前	外来診療	
	午後	外来手術、病棟回診・処置	
木曜日	午前	外来診療	} 大学病院にてカンファレンス に参加も有
	午後	病棟回診・処置	
金曜日	午前	外来診療	
	午後	外来手術、病棟回診・処置	

【評価】

研修終了時に自己評価および指導医による評価を行う。